

【市からのまとめ】

- ・ JR淵野辺駅北口階段への屋根の設置については、ペDESTリアンデッキをつくったが、あの下でスケートボードが行われて、一時困ったことがあった。
- ・ 小山公園にスケートボードができる施設をつくったため、この頃はそこへ移ってもらえたと思う。
- ・ 階段への屋根の設置についてだが、ペDESTリアンデッキの現在の標準仕様には屋根がなく、また、屋根がない方が安上がりである。
- ・ さらに、ペDESTリアンデッキは道路構造物であり、設置には警察、道路管理者、消防等との協議が必要であり、いろいろ大変である。
- ・ 今の日本の駅前広場は車が優先であり、ペDESTリアンデッキが決してよいものだとは思っていない。
- ・ フランスなどにはペDESTリアンデッキはない。
- ・ 日本が戦後、急成長し、これだけの社会を築くために、効率的なことばかり追求せざるを得なかったところがあると思う。
- ・ ようやく今、バリアフリーやユニバーサルデザインということで、障害者や高齢者、子どもに優しい社会をつくらなければいけないと言われ出し、我々も意識している。
- ・ 時間はかかると思うが、そのような社会にしていかなければいけないと思っている。
- ・ 上矢部4丁目1番角交差点への右折車線の設置については、議題4の歩道の問題とともに、以前からの課題である。
- ・ 工場沿いには、一部市が買わせていただいた土地があり、また、市には売れないが、下がることはよいということで市が使わせていただいているところもある。
- ・ しかし、交差点については、地権者の意向があるため、現在の広い部分を使って工夫できないかを検討している。
- ・ また、気づかなかったが、信号処理でうまくいく方法があるかもしれないので、警察と協議して、後日回答したい。
- ・ 麻布大学の件も含め、一生懸命取り組んでいるが、地権者にはそれぞれの都合があるので、説得し、理解を得るように努めるが、今後もいろいろな工夫をしていきたい。
- ・ 麻布大学とは一度、麻布大学附属淵野辺高等学校も含めて協議したい。
- ・ 学長は地元理解があるため、無理は言わないと思うので、市も誠意をもって協議したい。
- ・ 矢部駅北口公衆便所前のスペースの撤去については、なぜあのようなものを設置したかが問題の一番の基であると思う。
- ・ 駅前広場にあのような修景施設をつくるのが良いという考え方は、全国の都市計画の技術者が考えたことである。
- ・ 何もないと、みすばらしいからだと思うが、庭に植木を植えるようなものであり、他にもモニュメントなどが考えられる。
- ・ しかし、ご指摘いただいたような状況なので、とりあえずネットフェンスを設け、将来は撤去することも視野に入れて検討したい。
- ・ 撤去した場合に放置自転車の置き場になっても困るので、撤去後の対応についても考えなければならぬ。
- ・ 行政がモラルをどこまで取り締まるか考える必要があるが、細かいことにまで行政が「ああしろ」、

「こうしろ」と言うことはいかがなものか。

- 例えば現在市では、たばこのポイ捨ても条例で取り締まっている。
- また、県知事が禁煙条例をつくらうとして、一部の業界から大反対が起きている。
- 子どものしつけができていないということで学校にやれと言われても、先生が大変である。
- 昔なら静かすることができた小学校1年生が、今はできないらしい。
- しかし、そういうものをすべて行政に任せる社会がよい社会なのか。
- 税金をいただいているが、行政がどんなことでもやって、出しゃばってモラルや倫理にまで口出しすることがよいことなのか疑問に思うところもある。
- この結論はすぐには出ないと思うので、行政と市民でどのように役割分担をしていったらよいか、今後も話し合っていきたい。